

日本学術会議の展望に関する検討について

1. 趣旨

平成 17 年の日本学術会議の改革時、総合科学技術会議意見具申「日本学術会議の在り方について（平成 15 年 2 月）」において、改革後 10 年以内に新たに日本学術会議の在り方を検討するための体制を整備し、評価、検討を客観的に行い、その結果を踏まえ、在り方の検討を行うこととされた。

これを踏まえ、日本学術会議の今後の展望について検討する体制を整備し、平成 17 年改革後の日本学術会議の活動状況の適切な評価に基づき、日本学術会議の役割や位置付け、活動の活性化に向けた課題、組織・構成等について検討。

2. 検討体制、構成員

- ・内閣府特命担当大臣（科学技術政策）の私的懇談会として大臣決定に基づき「日本学術会議の新たな展望を考える有識者会議」を開催。
- ・構成員については、大臣が依頼する有識者 12 名（学者 7 名、経済界 2 名、その他 3 名）。

3. 開催経緯及び今後の予定**【平成 26 年】**

7 月 31 日 第 1 回会議

平成 17 年改革の経緯、改革後の活動状況についての学術会議からの説明等

9 月 12 日 第 2 回会議

平成 17 年改革の成果の検証と見直しの方向性についての学術会議からの説明等

11 月 12 日 第 3 回会議

論点についての議論①

12 月 19 日 第 4 回会議

論点についての議論②

【平成 27 年】

1 月 22 日 第 5 回会議

歴代日本学術会議会長からの意見聴取、学協会からの意見聴取、

論点についての議論③

2 月 19 日 第 6 回会議

報告書（案）についての議論

3 月 20 日 第 7 回会議

報告書まとめ、大臣への手交